

アニュアルレビュー

インパクト預金は、JCR 社によって、みずほ銀行がフレームワークに沿ってインパクト預金の資金を適格インパクトファイナンスに適切に充当していることを年次ベースで確認されています。

インパクト預金および適格インパクトファイナンスの残高は以下の通りであり、インパクト預金の残高は、適格インパクトファイナンスの投融資残高を超過していないことを確認しています。(2025 年 3 月末時点)

適格インパクトファイナンスの投融資実績

インパクト預金残高 (A)		56,990,408,496 円
適格インパクトファイナンスの 投融資残高 (B)	Mizuhو ポジティブ・インパクト ファイナンス	185,587,900,000 円
	Mizuhو ポジティブ・インパクト ファイナンス PRO	5,666,777,335 円
	Mizuhو Eco Finance	1,068,117,959,959 円
	合計	1,259,372,637,194 円
インパクト預金充当割合 (A÷B)		4.5%

適格インパクトファイナンスの KPI

Mizuhو ポジティブ・インパクトファイナンス

【旧インパクトカテゴリー】*

SDGs 17Goals	UNEP FI インパクトカテゴリー	重視項目	KPI 設定社数 (2024 年度末時点)
1.貧困	経済収斂	-	-
2.飢餓	食糧	-	2 社
3.健康と福祉	健康・衛生		6 社
	大気・室内空気		3 社
4.教育	教育・衛生		2 社
5.ジェンダー	包括的で健全な経済	○	11 社
6.水	水 (入手)	-	2 社
	水 (質)	○	2 社
7.エネルギー	エネルギー	○	2 社
	資源効率・安全性	○	8 社

8.働きがい	雇用	○	13社
	包括的で健全な経済	-	10社
9.産業	情報	○	1社
10.不平等	人格と人の安全保障	-	3社
11.まちづくり	住宅	○	5社
	移動手段	○	1社
	文化・伝統	○	3社
12.作る責任・ つかう責任	資源効率・安全性	-	9社
	廃棄物	○	12社
13.気候変動	気候変動	○	16社
14.海の豊かさ	生物多様性と生態系サービス	○	1社
15.陸の豊かさ	土壌	-	2社
	生物多様性と生態系サービス	-	2社
16.平等と公正	正義	-	-
	強固な制度・平和・安定	-	-
17.パートナーシップ	経済収斂	-	4社

* インパクトリーダー初版を使用して組成した案件。一部2024年度以降の案件を含む

【新インパクトエリア/トピック】

UNEP FI インパクトエリア	UNEP FI インパクトエリア/トピック	重視項目	KPI 設定社数 (2024年度末時点)
人格と人の安全保障	紛争	-	-
	現代奴隷	-	-
	児童労働	-	-
	データプライバシー	-	-
	自然災害	-	1社
健康および安全性	健康および安全性	○	4社
入手可能性、アクセス可	水	-	-

能性、手ごろさ、品質	食糧	-	-
	住居	○	-
	健康と衛生	-	-
	教育	-	1社
	エネルギー	○	4社
	移動手段	○	1社
	情報	-	-
	コネクティビティ	○	1社
	文化と伝統	○	-
	ファイナンス	-	1社
生計	雇用	○	3社
	賃金	○	-
	社会的保護	-	3社
平等と正義	ジェンダー平等	○	7社
	民族・人種平等	-	-
	年齢差別	-	-
	その他社会的弱者	-	2社
強固な制度・平和・安定	市民的自由	-	-
	法の支配	-	-
健全な経済	セクターの多様性	-	-
	零細・中小企業の繁栄	-	1社
インフラ	インフラ	-	1社
経済収束	経済収束	-	-
気候の安定性	気候の安定性	○	7社
生物多様性と生態系	水域	○	-

	大気	-	-
	土壌	-	-
	生物種	○	-
	生息地	○	-
サーキュラリティ	資源強度	○	6社
	廃棄物	○	4社

Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PRO

こちらをご確認ください

[Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PRO 実行事例](#)

Mizuho Eco Finance

	2019年版 評価項目毎の評価基準達成件数	2024年度末時点 (対象件数：61件)
1	TCFDへの賛同表明	60件
2	S&P/JPXカーボンエフィシエント指数（カーボン情報の開示ステータス）	53件
3	S&P/JPXカーボンエフィシエント指数（十分位数分類）	44件
4	SBT認定/コミット状況	36件
5	温室効果ガスに関する環境長期ビジョン策定内容	61件
6	温室効果ガス排出量（Scope1+2）	47件
7	温室効果ガス排出量（Scope3）	60件